

新潟市新津斎場 指定管理事業報告書

平成 29 年度 実施内容

事業計画内容	実 施 内 容
地域・地域経済への貢献	新津斎場を考える会の供養会及び会合へ参加しました。 物品購入先は地元を優先して行いました。
個人情報保護のための方策	昨年度に続き、業務で使用した書類はシュレッダー処理を行いました。PC にはパスワード保護及びセキュリティー対策を実施。
職員研修及び育成の方法	新潟県責任者ミーティング（月 1 回）白根斎場との合同会議（月 1 回）を実施し指定管理手法など情報共有しました。 北信越地区エリアでの責任者ミーティング（年 1 回）を実施し、広範囲での情報共有を実施しました。
職員配置の考え方	経験者を責任者として配置し、管理指導を行いました。また、他斎場と連携し、欠員時には応援態勢を取り対応しました。
職員の雇用・労働条件	雇用条件等に変更はありません。 管理部による個人面談を実施しました。
施設管理の方策	計画に従い業務を行いました。 喫煙所にベンチを設置しました。
要望や苦情に対する対応	利用者アンケートを場内設置のほか、ハガキによる回答収集を行い、4 月から 3 月までに 222 通の返信を頂きました。
災害に対する対応	消防訓練、避難訓練を実施、新潟市白根斎場と合同で AED 取扱研修を実施しました。
事故防止と発生時の対応	マニュアルをもとに本社管理部からの指導及び、所内ミーティングにより事故防止研修を行いました。
経費縮減の具体的な取り組み方法	節電、節水を心掛け、こまめな電源 OFF などを行いました。
斎場業務に関する基本的な考え方	言葉遣いや利用者への配慮などを再確認し、所内ミーティングにより職員に徹底させました。
利用者平等利用の確保	利用者の案内方法など、お年寄りにもわかりやすく丁寧な方法を話し合い、実行しました。
利用者への配慮の基本的な考え方と取り組み方法	館内、館外の清掃を行い清潔感に配慮した運営を行いました。 アンケート以外にも利用者へ直接声かけを行い、要望事項の収集に努めました。